



在日大韓基督教会
宣教 100 ~ 110 周年標語
감사의 백년, 소망의 백년
感謝の百年、希望の百年
(데살로니가전서 5:18)

4月1日(金) 2011年 第696号

発行所 福音新聞社

〒169-0051 東京都新宿区西早稻田 2-3-18

電話 03 (3202) 5398

発行人 / 崔栄信・編集人 / 洪性完

fukuinshinbun@kccj.jp

info@kccj.jp

<西部地方会>第22回信徒修養会 「総会の歩み、これから」

去る、3月21(日)-22日(祝)、神戸市北区の神戸市立フルーツ・フラワーパークにおいて、「第22回、西部地方会信徒修養会」(伝道部・教育部共催)開催された。参加者は、大人68名、子供が7名であった。講師は、洪性完牧師(総幹事)が「総会の歩み、これから」と題の元で奉仕した。開会礼拝は、李聖雨牧師(武庫川教会)の司会で始まり、洪性完牧師がルカによる福音書10:23-37節からの説教と第一講演をした。

そして、日帰り修養会参加者のために集合写真を撮った。夕食を共にした後、地方会会长である裴明徳牧師(神戸東部教会)の司会で、第二講演が行われた。会衆は、そこで語られたメッセージと力強い講演の内容により、時が経つのも忘れるほどの恵みを受けた。

二日目の早天祈祷会は、金鐘権牧師(明石教会)の司会で始まり、梁栄友牧師(岡山教会)が「回復の恵み」(エゼキエル書36:24-38)を題にしてメッセージをし、敬虔の時間として行われた。その後、朝食を共にしながら、久しぶりに地方会の信徒とゆっくりと交わる時間をもつた。

第3講演は、伝道部長である中江洋一牧師(広島教会)の司会で行われた。引き続き、全体主題討論では、講義に対する質疑と応答の時間をもつた。そこで総幹事は、総会のこれからの歩みを話し、地方会に支援と協力を訴えた。

閉会礼拝では、中江洋一牧師(広島教会)の司会で、洪性完牧師のメッセージの後、李聖雨牧師の祝祷をもって、すべてのプログラムが終了した。この修養会では、2度の渡り、去る3月11日に起きた東日本大震災の被害者のために、執り成しの祈りをした。

今回の修養会も、神戸のガーデンリゾートで、二回連続都会の近い場所となった。自然に抱かれる中、主はいつもお変わりなく、今も生きて働き、わたしたちを愛してくださる神さまであることを感じることができ、心から喜びと感謝に溢れるものとなった。修養会の参加者たちは、交わりも深めることができた素晴らしい修養会であったと語り合った。

(報告: 権寧国牧師)

<関西地方会>女性連合会 京都教会にて、第58回定期大会を



2011年3月24日(木)、関西地方会女性連合会は、京都教会において、第58回定期大会を13の教会と1の伝道所が参加し、代議員59名の出席で開催された。第1部開会礼拝では、林淑子副会長の司会のもと、讃美歌404番を讃美し、司会者による祈りがあった。

その後、朴龍洙牧師(京都教会)より「平和を実現する人々」(マタイ5:9)の題目で説教がなされた後、朴牧師の司式のもとで聖餐式も執り行われた。そして、金禧美副会計が献金に対しての感謝の祈りをし、朴龍洙牧師の祝祷をもって、第1部の開会礼拝を終えた。

第2部の議事進行では、金英淑会長を議長とし、3分の2以上の出席が確認され、開会宣言をした。そして、新代議員と来賓を紹介し、拍手をもって歓迎した後、2010年度決算報告が承認された。第3部では、委員たちの改選が行われた。代議員総数58名で投票した結果、新委員が選ばれた。なお、次回の定期大会の開催場所は、大阪教会に決定された。

引き続き、第4部の閉会礼拝では、崔金順新会長の司会のもと、讃美歌384番を讃美し、崔春子牧師(高槻伝道所)より「クリスチャンのアイデンティティを目指して」(マルコ10:17-22)の題目で説教と祝祷をもつて閉会礼拝が行われた。

女性連合会と新役員の働きに神さまの豊かな恵みと導きがあるように祈る。

(報告: 姜定子)



<関東地方会>女性会第59回定期大会 船橋教会と東京教会で開催

関東地方教会女性会の第59回定期大会は3月21日(月)に予定されていたが、3月11日未明の東日本大震災により、震災復興のため延期され、4月9日(土)に船橋教会(船橋教会)で開催された。

第1部では、司会の李美和(西新井教会)による開会式後、各教会からの報告が行われた。次に、新規会員登録式があり、新規会員登録式が行われた。その後、新規会員登録式が行われた。

第2部では、各教会からの報告が行われた。次に、新規会員登録式が行われた。

しかし、新規会員登録式が行われた。次に、新規会員登録式が行われた。

(報告: 金惠珍)



<中部地方会>女性会一日研修会 「聖書の中の女性たち」 (講師: 洪領晃牧師)

2月22日(火)、名古屋教会において、中部女性会による一日研修会が行われた。第一部の聖書研究では、姜順明牧師(青年部長・名古屋教会)による司会のもと、朴恵慶牧師(伝道部長・名古屋教会)により始まり、洪領晃牧師(一宮伝道所)を講師に、「聖書の中の女性たち」という主題で講演があった。

洪牧師は講演を通して、聖書の編纂と成立の歴史を辿りながら、聖書が書物として持つ背景、新約聖書の性格等を説明した。その上、福音書に登場する四箇所の女性に関する記事、即ち「マルコ5章のイエスの服に触れる女、マルコ7章のシリア・フェニキアの女、ルカ10章のマルタとマリア、そしてマグダラのマリアに焦点を当て、それらが聖書に書かれている理由や背景を紐解くとともに、これらの記事にイエスの女性を信じ、イエスが痛みを知る女性への期待するメッセージが込められている」という講義を行った。

韓紙講座も開かれ

第二部では、名古屋教会の金宝羅執事の指導により、韓紙(韓国の和紙)を使った壁掛け作り講座が開かれた。色鮮やかで古風な韓紙はどこなく懐かしく、暖かな小春日和の中、韓国の文化に触ることのできる、和やかで楽しい時間となった。

(報告: 姜順明)

豊かな味はこころまで豊かにする。



四谷本店

代表取締役 吳永錫
(東京希望キリスト教会 長老)

東京都新宿区四谷3-10-25
Tel. 03-3354-0100
Fax. 03-3353-6200



在日同胞文化の創造と多文化共生社会を目指して2006年4月25日、創立100周年を迎えました。

- ◆ 東京で一番安く便利な宿泊研修施設(ホテル): フロントは日・韓・英語を対応、24時間サービス。10名様から2020名様の会議及び宿泊研修(50名様)も可能。
- ◆ スペースワイホール: 220席の多目的ホール。セミナー・コンサートなどに最適。
- ◆ 韓国文化(チャング・カヤグム・舞踊)教室・韓国語講座・各種こどもクラス
- ◆ YMCA アジア語学院(日本語学校) ※会員及び教職者割引有

(税込み)	平日	休・休前日
シングル	¥6,300	¥5,040
ツイン	¥11,550	¥9,240
トリプル	¥14,490	¥11,592
朝食	¥200	カルビクッパ、コムタン、ユッケジャン、韓定食、洋食(全メニュー付き)

在日本韩国 YMCA <http://www.ymcajapan.org/ayc/jp/>

東京韩国 YMCA アジア青少年センター〒101-0064 東京都千代田区猿楽町2-5-5 TEL 03-3233-0611 FAX 03-3233-0633
関西韩国 YMCA アジア青少年センター〒537-0025 大阪市東成区中道3-14-15 TEL 06-6981-0781 FAX 06-6981-0782

創世記連続講解 (4)

尹宗銀 牧師
(横浜教会名誉牧師)



創世記 6 章

創世記 6 章の総主題は、『審判の予告と救いの準備』であるが、それを分解すると 4 項目に分けられる。

- ① 1 - 4 節：人類の極度の堕落の状態。
- ② 5 - 8 節：神が審判を下すと決定する。
- ③ 9 - 13 節：神に従う無垢な [perfect] 人ノアと世の人々の罪。
- ④ 14-22 節：神はノアに箱舟 [tebah、英語 ark] を建造するよう命じる。

本章は、神の審判と救援に対する記事である。2 節に『神の子らは、人の娘たちが美しいを見て、おののおの選んだ者を妻にした』とある。この意味は神の子であるセト [Seth] の子孫と人の娘であるカインの子孫の自由な結婚によって性道徳が乱れると同時に人類の堕落と腐敗が極度に達した。そのとき人々は人間側から見れば英雄であったが、神側から見れば神に逆らう者であった。

元来、旧約は聖文の時代であるが聖霊も働いていた。神は 120 年の期間を定めて働いた。全世界に罪悪がみなぎっていたが、その反面聖なる生活をする一人の人気がいた。彼がノアである。彼は行いに置いては義人であり、靈的には無垢な [innocent] 人であり、生活の面では神と共に歩む人であった (9 節)。これは実に神の恩寵である。神は彼に審判と救援に対して意見を交わした。神は今日にも清く完全な生活をする人には神の秘密を啓示される (ヘブ 11: 7)。神は一方罪人に対しては審判を準備すると同時に、他方義人に対しては救いの道を備える、即ち箱舟の準備である。神は人類に対する始めの審判は洪水をもってなされたが、最後の審判は火をもってなされる (コリント一 3:13)。

水と火は、神の審判の道具である。神は末世に人類を救うために第二の箱舟を与えられている。それはイエス・キリストである。物質の箱舟はノアの 8 人家族だけを救われたが、靈的な箱舟であるイエス・キリストは全人類を救うために来られた。

ノア時代の人々は洪水に沈没したが、今日の人々は

罪悪に沈没している。その時代の人々は不信仰によつて滅亡をもたらしたように、今日の人々も不信仰のゆえに救いの船に入られない。ノア時代にもノアの 8 人家族だけが保護されたように、今日も招かれる人よりも選ばれた者の数が少ないので心配である。

創世記 7 章

創世記 7 章の総主題は『洪水の審判』であるが、それを分解すると 4 項目に分けられる。

- ① 1 - 9 節：箱舟に入れと命じられる。
- ② 10 - 12 節：40 日 40 夜雨が降りかかる。
- ③ 13 - 16 節：ノアが箱舟に入る。
- ④ 17 - 24 節：洪水審判の惨憺 [terrible] な光景。

本章は、洪水審判に対する惨めな状態を記録している。箱舟に『入る』と言う言葉は、英訳には [Come] と訳されている。この言葉は、聖書全体に 600 回も使用されている。その中で最大な意味を表しているのは、イエスが『だれでもわたしのもとに来なさい。休ませてあげよう』と言う招きの言葉である (マタイ 11:28)。ノアは、神の招きに従って全家族を連れて箱舟に入られた。『七日』とは、神の審判に対する最後の猶予期間である。神は人間の罪をこらえてアダム後 500 年間耐え忍び、審判を宣告して 120 年我慢し、最後七日まで人間の悔い改めを待ち望んだ (詩 103: 8)。いよいよ神は箱舟の戸を閉ざされた。一方ノアには、保護の方便であると同時に、他方、世の人々には恵の戸が閉ざされた証拠である。これは救いの機会が過ぎ去ったのを意味する (コリニ 6: 2; マタ 25:10; ルカ 13:25)。

ノアが箱舟に入った後、洪水が地上を覆った。これは神が聖徒たちを患難の中にも保護される証拠である (詩 26: 9; 黙 3:10)。末世に主の再臨時にも患難以前に聖徒たちの携挙があるであろう。これに対してイエスは、『ノアの時代にあったようなことが、人の子が現れる時にも起こるであろう。ノアが箱舟に入るその日まで、人々は食べたり飲んだり、めとったり嫁いだりしていたが、洪水が襲って来て、一人残らず滅ぼしてしまった』(ルカ 17:26-27) と語られた。わたしたちは、創世記 5 章と 7 章の中で三大事実を発見する事ができる。エノク [Enoch] は主の再臨の時に、患難の以前に携挙される聖徒の代表であり、ノアは患難を通して救われる者の代表であり、世の人々は滅亡される者の代表である。主の再臨が差し迫っているこの時代に恵みの門が閉ざされる前に準備する必要がある。主は『だから、あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである』(マタ 24:44) と戒められた。

不動産管理
アルカンシェル名駅
李 光 世
(名古屋教会 長老)

〒 453-0013 名古屋市中村区亀島 2-2-27
電話・FAX 052-451-7713 携帯 090-3578-7571
E-mail:kwangse.lee@nifty.com

<西南地方会>女性連合会 第57回定期大会開催

去る4月16日(土)、西南地方教会女性連合会第57回定期大会が折尾教会において開催された。定期大会には、6教会から代議員22名、傍聴者5名、牧師2名、全国連合会総務等、合計30名が集った。姜富子会長の司会による開会礼拝では、女性部長である鄭在植牧師(下関教会)が、「心を騒がすな。神を信じなさい。そうすれば平安を得る」(ヨハネ福音書14章1-6)と題して説教した。

そして、会順に従い、全国教会女性連合会総務(金必順牧師)からの来賓祝辞があり、前会録承認後、任員会、各部、各教会、会計の報告がなされ、それぞれ承認された。さらに記念撮影と昼食の後、任員改選投票があった。

新役員は、以下の通りである。

- ・会長：金幸子(福岡中央)、・副会長：洪秀任(福岡中央)、・書記：崔聖実(小倉)、・副書記：尹成嬉(小倉)、・会計：姜富子(折尾)、副会計：韓英蘭(福岡)、・宣教部長：秋順愛(福岡中央)、・青年部長：岸本真理子(福岡中央)、・財政部長：洪恩淑(下関)、・教育部長：李好子(小倉)、・社会部長：金貞子(小倉)、・規約部長：尹成嬉(小倉)、・会計監査：任永淑(折尾)・金載美(福岡)

引き続き、旧役員の労を拍手でもってねぎらい、新役員と交代した。さらに、新会計より、ほぼ前年通りの予算案提示があり承認された。閉会礼拝では、鄭守煥牧師(折尾教会)が、「逃れる道を備え希望をくださる主がおられるので、試練を多くの人々と共にいたわり助けあう時として、小さなことに忠実に励もう」(コリント第一10章13節)を題して説教した。

東日本大震災という、日本にいる者のみならず、世界の人々の常識、価値基準を揺るがす衝撃的な出来事を経ての今大会は、開会・閉会礼拝説教、また金必順総務の報告を聞きつつ、信仰者として日々を振り返り、心引き締め新しい歩みを始めることを促した定期大会となった。それによって、主の導き、知恵によって西南教会女性会会員一同が今の時に必要な働きを力強くできることを切に祈り、感謝のうちに定期大会を終えた。

(報告：崔聖実)

<中部地方会>女性会第51回定期大会 新会長には、金甲粉(豊橋教会)

去る5月6日、中部女性連合会の第51回定期大会が豊橋教会にて、4教会2伝道所の代議員25名の出席で開催された。開会礼拝は、金甲粉副会長(豊橋教会)の司会で始まり、金必順牧師(全国女性会総務)が「義という平和の実」(ヘブライ人への手紙12:11~13)と題して説教をした後、鄭静子勧士、金恩渼勧士(名古屋教会)の配餐により聖餐式にあづかった。

そして、金純子会長(名古屋教会)の開会辞と開会宣言に続き、洪領晃牧師(一宮伝道所)と李戊順(岐阜教会)歴代会長より祝辞をいただき、来賓紹介の後、写真撮影を行った。その後、豊橋教会の女性会が用意したおいしい昼食をいただき、議事進行に入った。議事進行では、鄭恵子書記の前回会議録朗読の後、各部報告は書面でなされた。そして、朴京子会計(一宮伝道所)の報告へと続き、会計監査報告が受理された。

特に今年は、任員改選があり、選出された結果は以下の通りである。

会長：金甲粉(豊橋教会)、副会長：鄭恵子(名古屋)、書記：黄美京(豊田めぐみ伝道所)、副書記：朴京子(一宮伝道所)、会計：池禎春(名古屋教会)、副会計：金純子(名古屋教会)。

そして各部と会計監査を選出して発表された後、各教会の会長により各教会報告があり、新旧任員が交代した。2011年度計画は、役員に一任され、予算案も通過された。引き続き、全国女性会総務(金必順牧師)より、「第58回大会及び女性会指導者研修」への参加要請と全国総代選定に関する説明があり、次回の大会場所を豊田めぐみ伝道所又は名古屋教会とし、議事を終了した。

閉会礼拝は、新会長に選出された金甲粉の司会のもとで、朴太元牧師(豊橋教会)が「常識をくつがえして」(マルコによる福音書2:1~12)と題して説教と祝祷を捧げ、主の祈りの後、新会長の閉会宣言で終了した。

(報告：金甲粉)

